

# 日本消化器外科学会 第7回若手育成セミナー JESUS 2022 開催報告

広報委員会・JESUS 実行委員会 委員長 猪股雅史

## 1. はじめに

若手育成セミナー JESUS は、若手消化器外科医の育成と入会者の増加を目的として 2015 年に開始となったセミナーであり、例年全国から 120 名の研修医が参加している。本セミナーの特色は以下の 3 点である。

### ① 外科基本手技がじっくり学べるプログラム

ドライボックスやバーチャルシミュレーター、腸管モデルを用いて正しい技術をじっくり学ぶことができるハンズオンを開催している。

### ② 将来の進路を深く語り合えるセミナー

兄貴分、姉貴分にあたる講師陣、また同じ目的意識を持った同世代とともに語りあえるセミナーを開催している。

### ③ 日本を代表する教育熱心な講師陣からの直接指導

全国から参加した日本を代表する教育熱心なエキスパート講師陣からの face to face の指導を受けることができる。

## 2. コロナ禍での JESUS 2022 開催に向けた取り組み

2020 年は不開催、2021 年は完全 Web 開催となったため、2022 年は 3 年ぶりの現地開催を計画した (図 1)。しかしながらコロナ禍では従来のように 1 泊 2 日で全国から 120 名の参加者を募るのは困難と判断し、JESUS 2022 は、①半日開催、②定員 50 名と規模縮小、③第 77 回総会 (遠藤格会長) とジョイントの上、7 月開催とした (図 2)。また飲食を伴う懇親会は不開催とした。定員 50 名に対し約 80 名の応募があったため、今回は 2 年目研修医を対象とし 58 名を選出した。エリア別では四国を除く全エリアからご参加いただき、比較的均等な参加状況となった (図 3)。

共通プログラムは昨年同様に Under 40 委員会 (担当理事: 調 憲 先生) のご協力のもと、キャリアセミナーおよび小グループでの座談会をご企画頂いた。またハンズオンセミナーは例年と同様に、①トレーニングボックス、②腸管吻合を企画し、ハンズオンの最後にはトレーニングボックスタイムトライアルを企画し、上位 3 名には豪華賞品を用意した。

図 1

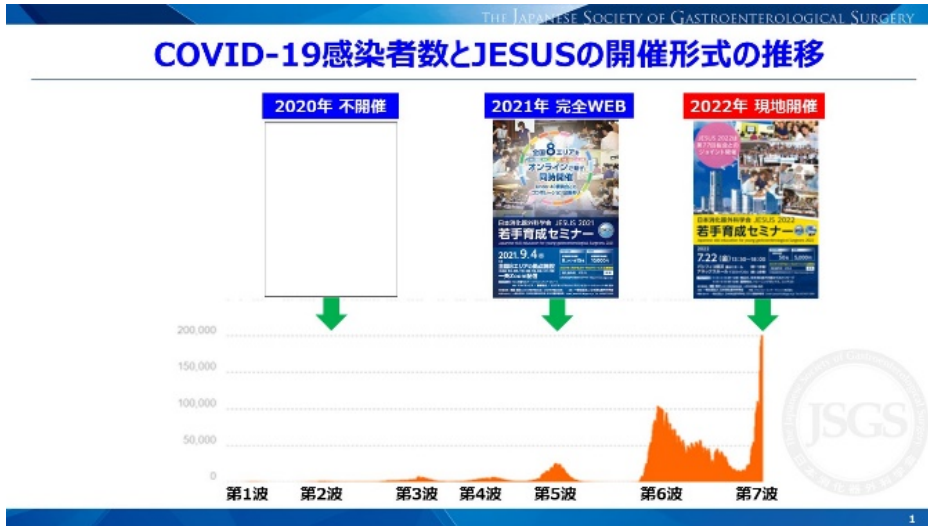


図 2

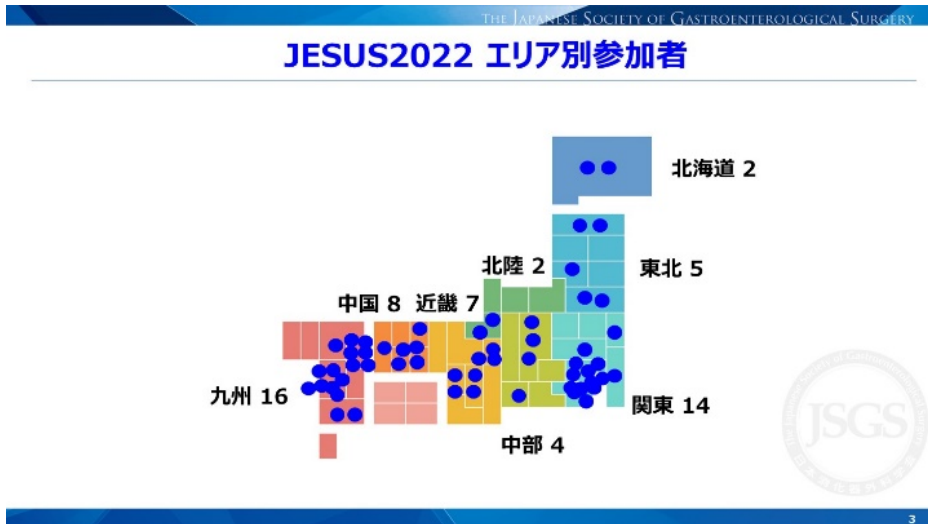


図 3



### 3. 開催当日（2022年7月22日金曜日）の概況報告

第7波の到来のため選出された58名の参加者のうち9名が不参加となり、全49名の現地参加者を迎え、北川雄光理事長のご挨拶および実行委員長猪股の開会宣言にてJESUS 2022は開会した（図4）。

図4



#### ① Under 40 委員会コラボ企画

Under 40 委員会コラボ企画では、まずキャリアセミナーと題し、事前に参加者から集めた質問内容について、Under 40 委員会メンバーおよび40歳未満のインストラクターが回答するセミナーを開催した。質問内容は、消化器外科医として辛いことは？子育てと仕事の両立は可能か？研修医時代に行っておくべきことは？休日の過ごし方は？など多岐にわたる質問であり、それらの質問にUnder 40 委員会およびインストラクターが回答した（図5,6）。その後はSmall Group形式の座談会で、①医局、②外科救急、③働き方改革・育児との両立、④大学院・研究・論文、⑤海外・国内留学のテーマで、各講師陣が参加者の質疑応答に応えるセミナーを行った（図7）。

図5

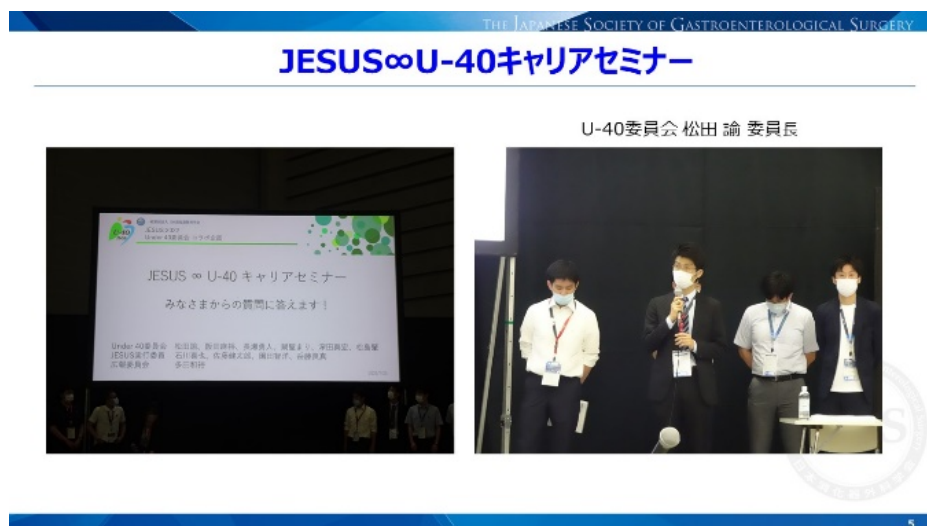


図 6

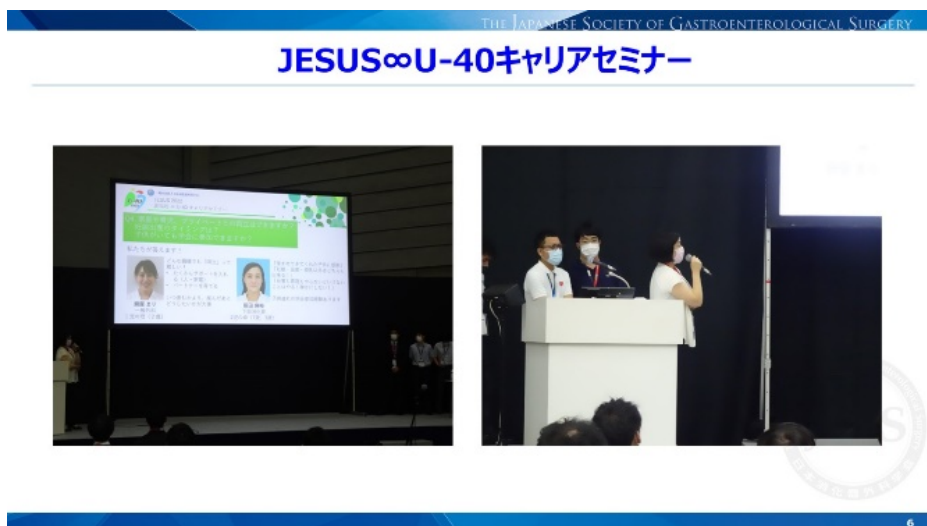


図 7



## ② ハンズオンセミナー

パシフィコ横浜アネックスホールにて、トレーニングボックスおよび腸管吻合のハンズオンを行った。トレーニングボックスは、後に開催するトレーニングボックスコンテストのプログラムに準じてドライボックスを用いて体内結紮のトレーニングを行った（図8）。腸管吻合はブタの腸管を用いて Albert-Lembert 吻合を行い、最後に水を注入しリークテストを行った（図9）。いずれのハンズオンも参加者は熱心に取り組んでおり、またインストラクターも情熱的な指導を行っているのが印象的であった。

図 8



図 9



③ トレーニングボックスコンテスト

ハンズオンセミナー最後には、恒例のトレーニングボックスコンテストを開催した。コンテストの内容は針糸をボックス内に入れてから3回体内結紮し、糸を切るまでの時間を争うタイムレースであり、優勝という栄誉と豪華賞品をかけた熱い戦いが繰り広げられた（図 10）。

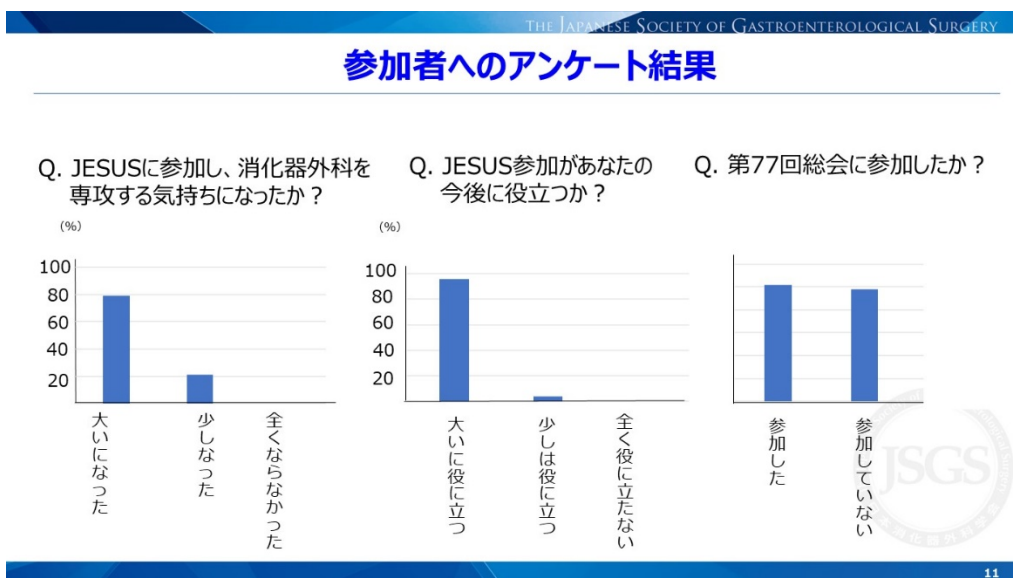
図 10



#### 4. JESUS 2022 アンケート結果

JESUS 終了後に参加者 49 名に行ったアンケートでは、JESUS に参加したことで消化器外科を専攻する気持ちになったか？の設問に対し、「気持ちになった」と回答した割合は 98%であった。また JESUS があなたの今後役に役立つかの設問にも同様に 98%の参加者が「役立つ」と回答した。また JESUS 2022 の特色である、総会とのジョイント開催について、51%の参加者が「総会にも参加した」と回答し、総会に参加した参加者は全員「総会への参加は貴重な経験となった」と回答した。7月開催についても参加者全員が「適当」と回答した。一方で、1泊2日開催と半日開催ではどちらがいいかの設問には 53%が1泊2日開催、47%が半日開催と回答し、今後の JESUS 開催の在り方を検討する必要があると考えられた。懇親会については、「行った方がよい」と回答した参加者が 87%を占めていた（図 11）。

図 11



## 5. おわりに

3年ぶりの現地開催となった JESUS 2022 は規模を縮小したものの、7月の総会とのジョイント開催など、創意工夫の上、本セミナーの目的である若手外科医の育成および日本消化器外科学会入会者の増加に向けた取り組みができ、また参加者の満足度が高いセミナーとなった。

最後に JESUS 2022 に参加してくれた全国の研修医にとって素晴らしい体験になったことを祈念するとともに、総会中にも関わらずご挨拶の労をお取りいただきました北川理事長を始め、会場までお越し頂いた役員の方、準備に携わって頂いた日本消化器外科学会事務局および第77回総会事務局の皆様、インストラクターをお務め頂きました広報委員、JESUS 実行委員、Under 40 委員の方、共催のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社に感謝申し上げます（図 12）。

図 12

